



マトリクススイッチャ用リモートコントローラ

SWC-1000

取扱説明書 Ver.1.2.3

この度は、マトリクススイッチャ用リモートコントローラ「SWC-1000」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。「SWC-1000」は低価格ながら高い品質を持っています。本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く



警告

 <p>指示</p> <p>・据付工事について 技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または当社営業部に問い合わせ下さい。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p>	 <p>指示</p> <p>・電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のときや長時間使用しないときなどに役立ちます。</p>
 <p>指示</p> <p>・電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱によって火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p>	 <p>プラグを抜く</p> <p>・煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認し、当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 <p>プラグを抜く</p> <p>・落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については当社営業部に問い合わせ下さい。</p>	 <p>プラグを抜く</p> <p>・内部に水や異物がいいたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。点検・修理については当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 <p>禁止</p> <p>・不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>・振動のある場所に置かない 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
 <p>分解禁止</p> <p>・修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。内部の点検・調整及び修理は当社営業部に問い合わせ下さい。</p>	 <p>禁止</p> <p>・電源コード・電源プラグは傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・電源プラグが傷んだら当社営業部に問い合わせ下さい。</p>
 <p>禁止</p> <p>・異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p>	 <p>指示</p> <p>・電源プラグのほこりなどは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因になります。</p>
 <p>接触禁止</p> <p>・雷が鳴り出したら電源コードやLANケーブル、本体などには触れない 感電の原因になります。</p>	

機器の接続について

 <p>指示</p> <p>本機器と周辺機器との接地電位差により感電、もしくは機器の破損が発生する場合があります。機器間をケーブルで接続する際は、長距離伝送接続なども含めて、関係する全ての機器の電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</p> <p>各機器の信号・制御ケーブルを接続し、終了した後に各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。</p>
--



注意

 <p>・温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない 加湿器のそばやほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
 <p>・通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・本体付属のACアダプタまたは、電源コード以外のものは使用しない 不適合により、火災や感電の原因になります。本体付属の AC アダプタまたは、電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、当社営業部に問い合わせ下さい。</p> <p>禁止</p>
 <p>・機器の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	
 <p>・コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	 <p>・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>
 <p>・長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。</p> <p>プラグを抜く</p>	 <p>・使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。</p> <p>指示</p>
 <p>・他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る 火災や感電の原因になります。</p> <p>指示</p>	 <p>・お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因になります。</p> <p>プラグを抜く</p>

設置についてのお願い

・ラックマウント製品の場合

 <p>指示</p>	<p>EIA 相当のラックにマウントしてください。その際には上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また、安全性を高めるため前面のマウント金具と併用して L 型のサポートアングルなどを取り付けて、機器全体の質量を平均的に支えるようにしてください。</p>
---	---

・ゴム足付きの製品の場合

 <p>指示</p>	<p>ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は付属のゴム足、付属のネジ以外は使用しないでください。</p>
---	--

目次

1	製品概要	8
2	各部名称と働き	9
2.1	フロントパネル	9
2.2	コネクタ面説明	11
3	メニューの操作と設定	13
3.1	メニュー一覧	14
3.2	SWITCHER 設定	15
3.2.1	スイッチャセレクトの設定	15
3.2.2	リミッターの設定	16
3.2.3	OUTPUT LOCK MODE の設定	19
3.3	COMMUNICATION	20
3.3.1	COMMUNICATION の設定	20
3.4	LAN	21
3.4.1	本機 IP アドレスの設定	21
3.4.2	サブネットマスクの設定	21
3.4.3	GATEWAY ADDRESS の設定	22
3.4.4	SWITCHER1~3 の IP アドレス設定	22
3.4.5	SWITCHER1~3 の TCP ポート番号設定	23
3.4.6	MAC アドレス表示	23
3.5	シリアル通信	24
3.5.1	シリアル通信設定	24
3.6	その他	25
3.6.1	ブザー音設定	25
3.6.2	バージョン情報表示	25
4	シリアル通信の接続方法	26
4.1	シリアル通信仕様	26
4.2	シリアル通信の接続方法	27
5	LAN 通信の接続方法	29
5.1	LAN 通信仕様	29
5.2	LAN 通信の接続方法	30
6	チャンネルセレクト	32
6.1	画面の説明	32
6.2	マトリクススイッチャのチャンネル切換え操作	33
6.2.1	入出力チャンネルの切換の手順	33
6.2.2	出力チャンネルの一括設定手順	35
6.2.3	出力チャンネルの OFF (無信号) の一括設定手順	35
6.2.4	複数同時にチャンネルの設定をする。	36
6.2.5	OUTPUT LOCK MODE 時にチャンネルの設定をする。	38
6.2.6	入力したデータを削除する。	39
7	クロスポイント	40
7.1	画面の説明	40
7.2	クロスポイントの操作説明	41
8	プリセットリコール	42
8.1	画面の説明	42
8.2	プリセットリコールの操作方法	43

9	ケーブルロックタイ取り付け方法.....	45
10	ラック取付金具(オプション:RM-SWC1000)使用方法.....	46
11	製品仕様.....	51
12	故障かな?と思う前に.....	52

1 製品概要

SWC-1000 は IDK 製マトリクススイッチャ MMV シリーズ、MRX シリーズ及び MVA シリーズのリモートコントローラです。

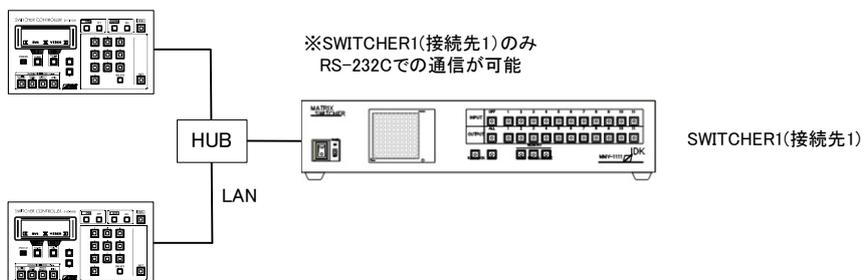
通信方式はシリアル通信 (SWITCHER1(接続先 1) のみ) / LAN 通信の2種類より選択となります。

1 台のマトリクススイッチャを複数の SWC-1000 から制御を行うことができます。また、1 台の SWC-1000 から複数 (最大 3 台) のマトリクススイッチャを制御することもできます。

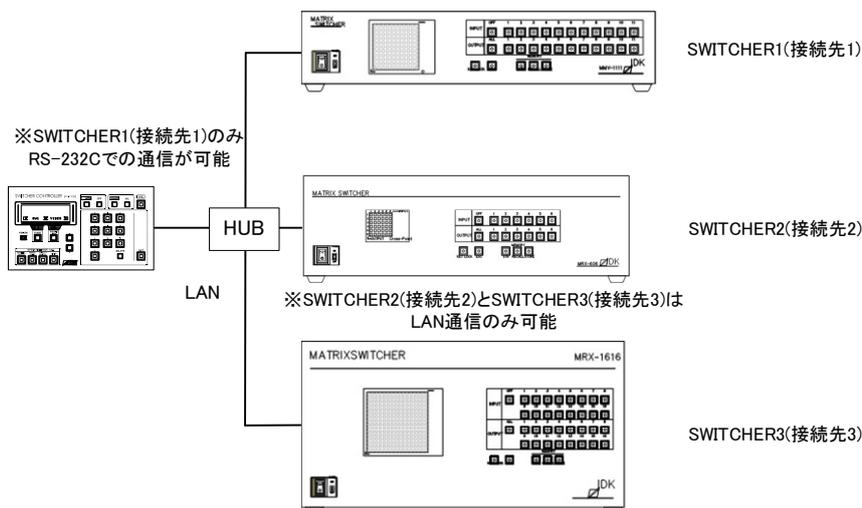
1 台のマトリクススイッチャを
1 つの端末から制御



1 台のマトリクススイッチャを複数の端末から制御

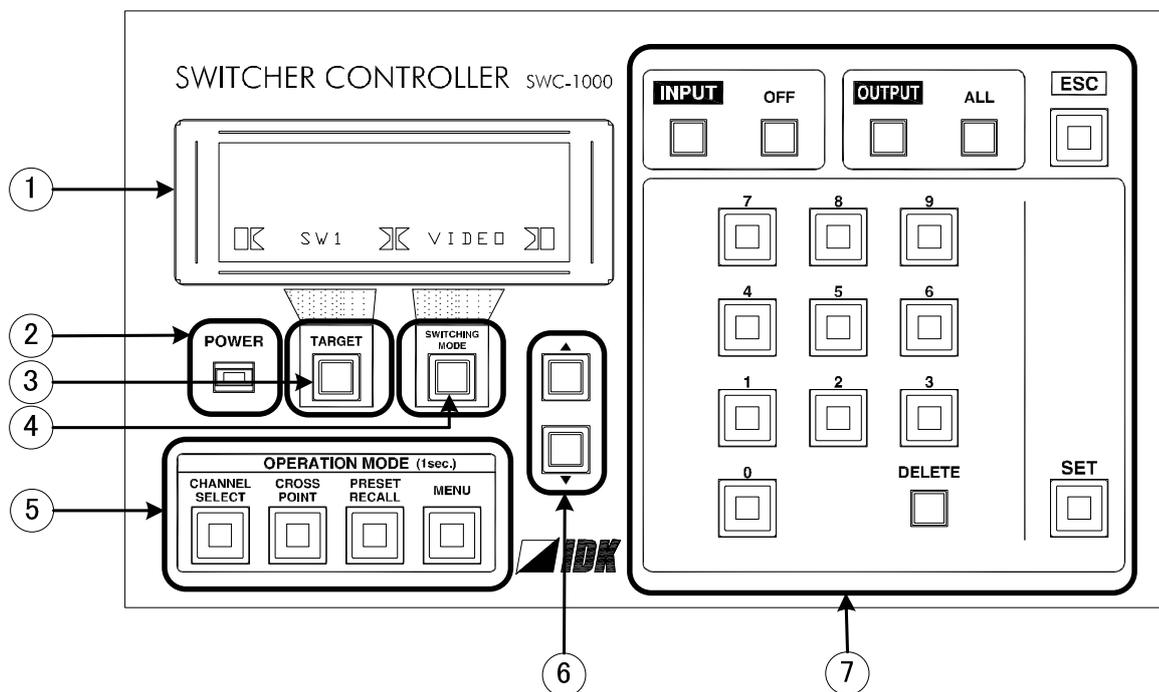


1 台の端末から複数 (最大3台) のマトリクススイッチャを制御



2 各部名称と働き

2.1 フロントパネル



- ① ディスプレイ
メニュー及び設定を表示します。
- ② 主電源スイッチ (POWER)
電源を投入すると主電源スイッチのLEDが緑色に点灯します。
- ③ ターゲットキー (TARGET)
接続先スイッチャ(SWITCHER1~3)の切替を行います。
- ④ スイッチングモードキー (SWITCHING MODE)
チャンネル切替モード{ 映像&音声同時(V&A) / 映像のみ(VIDEO) / 音声のみ(AUDIO) }の切替を行います。
- ⑤ オペレーションモード(CHANNEL SELECT, CROSS POINT, PRESET RECALL, MENU)
 - CHANNEL SELECT
チャンネル切替時に使用します。
 - CROSS POINT
クロスポイントの取得をします。
 - PRESET RECALL
接続先スイッチャに保存されているプリセットメモリを呼び出します。
 - MENU
メニューを表示します。

- ⑥ 上下キー
メニューの切換、カーソルの移動、設定値の変更を行います。
- ⑦ オペレーションキー(0~9, INPUT, OFF, OUTPUT, ALL, DELETE, ESC, SET)
テンキー(0~9)
数字入力時に使用します。

INPUT

CHANNEL SELECT 時にカーソルを INPUT 側に移動させます。

OFF

CHANNEL SELECT 時に出力チャンネルを OFF(無信号)に設定します。

OUTPUT

CHANNEL SELECT 時にカーソルを OUTPUT 側に移動させます。

ALL

CHANNEL SELECT 時に出力チャンネルを全選択に設定します。

DELETE

入力したデータを削除します。

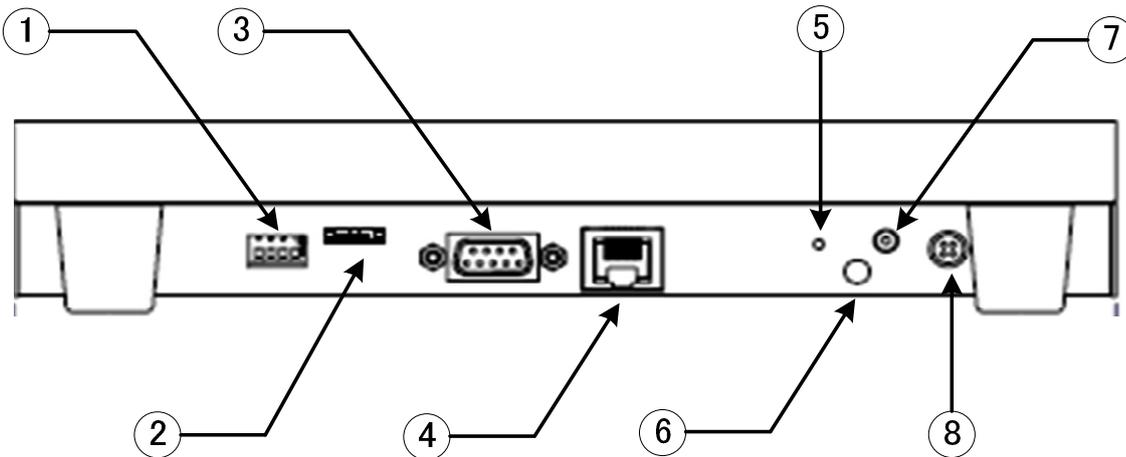
ESC

設定のキャンセルをします。

SET

設定の決定を行います。

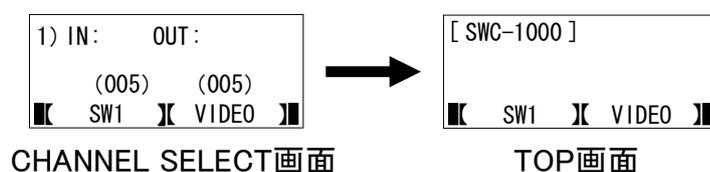
2.2 コネクタ面説明



- ① デイップスイッチ（DIP-SW）
未使用。
- ② 保守用コネクタ（UPDATE）
未使用。このコネクタには何も接続しないでください。
- ③ シリアル通信コネクタ（RS-232C）
シリアル通信で本機からマトリクススイッチャを制御する際に使用します。
- ④ LANコネクタ（LAN）
LAN通信で本機からマトリクススイッチャを制御する際に使用します。
- ⑤ リセットスイッチ
工場出荷時設定に戻します。
工場出荷時設定

LAN	本機 IP アドレス	192.168.1.198
LAN	サブネットマスク	255.255.255.0
LAN	ゲートウェイアドレス	192.168.1.202
LAN	接続先 IP アドレス(SW1)	192.168.1.199
LAN	接続先 IP アドレス(SW2)	192.168.1.200
LAN	接続先 IP アドレス(SW3)	192.168.1.201
LAN	TCP ポート番号 1~3	1100
RS-232C	シリアル通信速度	9600
RS-232C	シリアル通信データ長	8
RS-232C	シリアル通信パリティ	なし
RS-232C	シリアル通信ストップビット	1

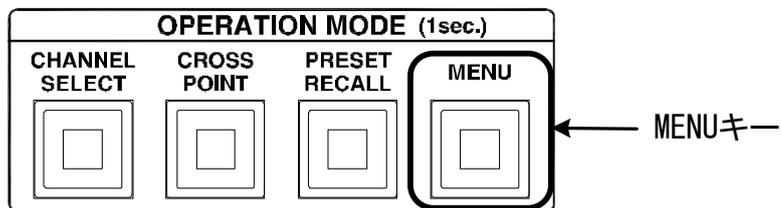
※リセットスイッチを押した際、ディスプレイが TOP 画面に切り替わるまでは電源を切らないで下さい。



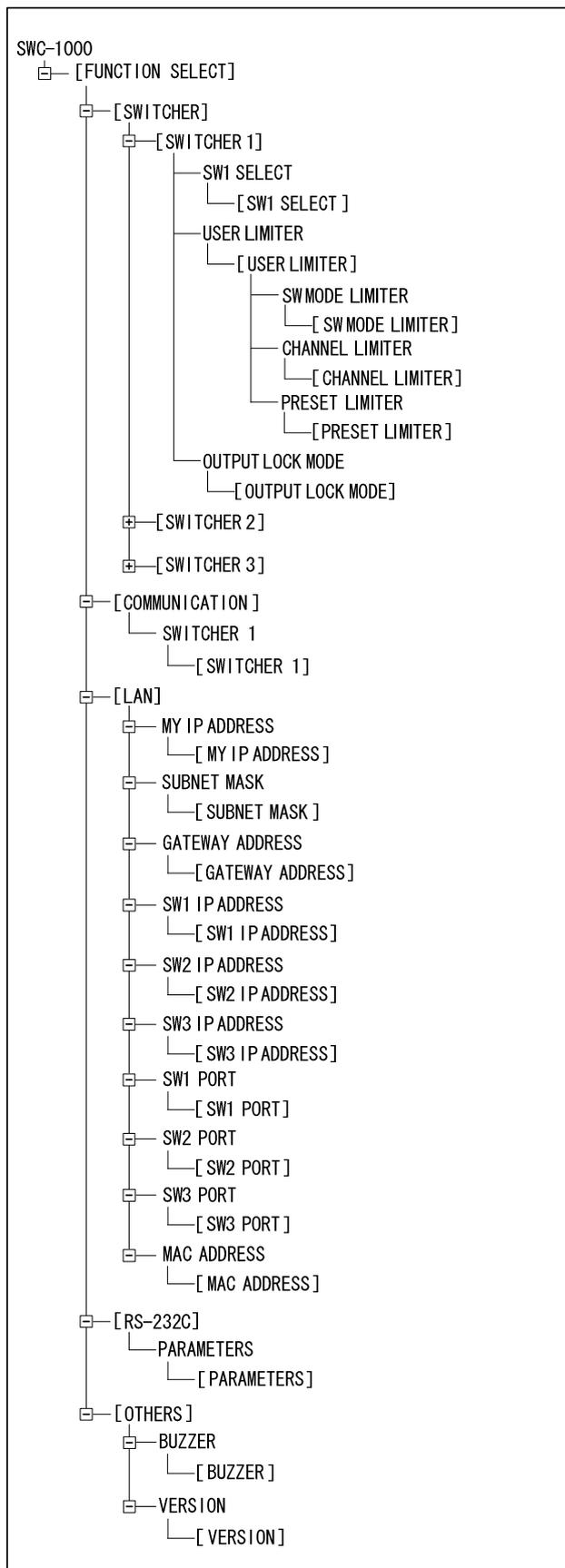
-
- ⑥ ケーブルロックタイ取り付け穴
付属の AC アダプタの接続固定用のケーブルロックタイ取り付け穴です。
(※本書のケーブルロックタイ取り付け方法 9 ケーブルロックタイ取り付け方法 P.45 をご参照ください)
 - ⑦ 電源コネクタ
付属の AC アダプタを接続します。
 - ⑧ フレームグラウンド (FG)

3 メニューの操作と設定

メニューに入るには、オペレーションモードの MENU キーを 1 秒間押し続けてください。
メニュー画面がディスプレイに表示されます。



3.1 メニュー一覧



3.2 SWITCHER 設定

3.2.1 スイッチャセレクトの設定

SWITCHER1～3(接続先 1～3)にどのマトリクススイッチャを接続するか選択します。

(※SWITCHER 1 初期値 OFF)

(※SWITCHER 2 初期値 OFF)

(※SWITCHER 3 初期値 OFF)

【 例 】SWITCHER 1 の接続を選択する場合



※ SWITCHER2,3 を使用しない場合は SW SELECT を OFF に設定します。

※ 現在の設定の状態は “*” が表示されます。

※ 機種名の隣に(V)、(V&A)と表示されている場合

(V):VIDEO MODEL (V&A):VIDEO&AUDIO MODEL となります。

【 例 】MMV-402 が設定されている場合

[SW1SELECT] ▶ OFF *MMV-402 MMV-505	
---	--

3.2.2 リミッターの設定

SWITCHER1～3(接続先 1～3)にリミッター(制限)を設定します。
リミッターを設定することにより、設定された数値以上の値を入力できないようにします。

SWITCHING MODE のリミッター設定

【例】SWITCHER1 の SWITCHING MODE にリミッターを設定します。

[FUNCTION SELECT] ▶ SWITCHER COMMUNICATION LAN	上下キー : SWITCHERを選択
↓ SETキー	
[SWITCHER] ▶ SWITCHER 1 SWITCHER 2 SWITCHER 3	上下キー : SWITCHER1 を選択
↓ SETキー	
[SWITCHER 1] SW1 SELECT ▶ USER LIMITER OUTPUT LOCK MODE	上下キー : USER LIMITERを選択
↓ SETキー	
[USER LIMITER] ▶ SW MODE LIMITER CHANNEL LIMITER PRESET LIMITER	上下キー : SW MODE LIMITERを選択
↓ SETキー : 決定 ESCキー : メニュー戻り	
[SW MODE LIMITER] ▶ SW MODE : 0 NONE 0 : NONE 1 : V&A 2 : VIDEO 3 : AUDIO	テンキー(0~4) : 値を入力
↓ SETキー : 決定 ESCキー : メニュー戻り	

※ 注意 : SWITCHING MODE の設定は接続先マトリクススイッチャが音声非連動の対応機種の時のみ変更が可能です。

【例】V&A 固定のマトリクススイッチャの場合

[SW MODE LIMITER] ▶ SW MODE : 1 V&A V&A ONLY	※他のモードは表示されません。
--	-----------------

CHANNEL SELECT のリミッター設定

【例】SWITCHER1 の CHANNEL SELECT の IN、OUT チャンネルにリミッターを設定します。



PRESET RECALL のリミッター設定

PRESET RECALL の PRESET のチャンネルにリミッターを設定します。



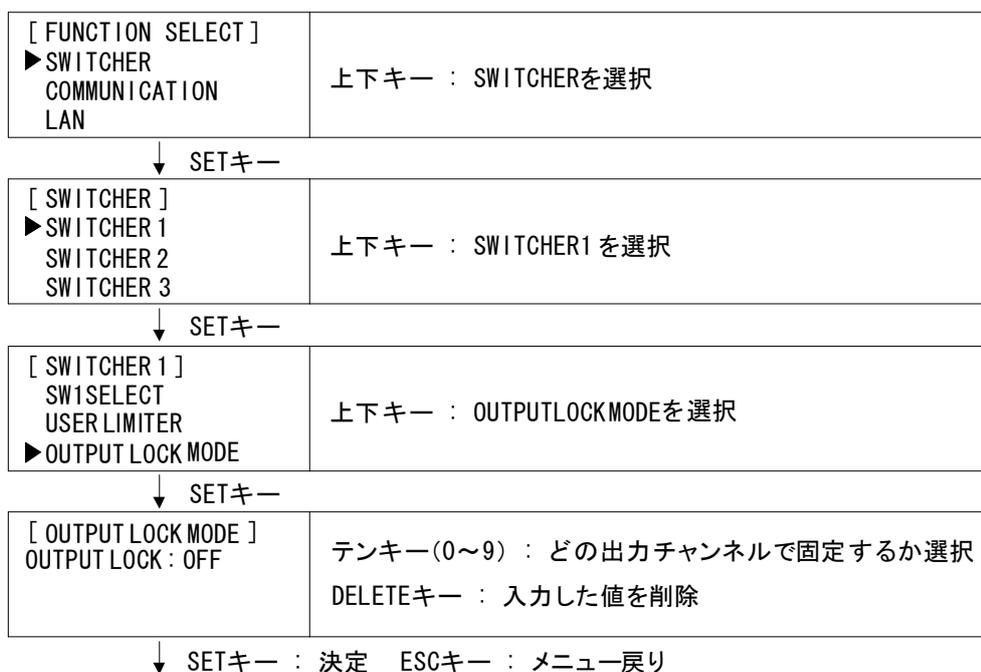
※ 注意 : SWITCHER SELECT で OFF に設定するとリミッターを設定することはできません。

[SW MODE LIMITER] ▶ SW MODE : -	値の入力はできません
[CHANNEL LIMITER] ▶ IN : --- (---) OUT : --- (---)	値の入力はできません
[PRESET LIMITER] ▶ OUTPUT : --- (---)	値の入力はできません

3.2.3 OUTPUT LOCK MODE の設定

SWICHER1～3(接続先 1～3)に OUTPUT LOCK MODE(出力チャンネル固定)を設定します。
LOCK MODE を設定することにより CHANNEL SELECT 時に出力側の数値を固定し、
入力側の数値を入力するだけでチャンネルの切換ができるようになります。

【例】SWITCHER1 に OUTPUT LOCK MODE を設定します。



※ 0 チャンネルで OFF(設定無し)に設定されます。

※ SW SELECT を OFF に設定すると OUTPUT LOCK MODE を設定することはできません。

[OUTPUT LOCKMODE] OUTPUT LOCK : ---	値の入力はできません
--	------------

3.3 COMMUNICATION

3.3.1 COMMUNICATION の設定

SWITCHER1(接続先 1)をシリアル通信で使用するか、LAN 通信で使用するかの設定をします。
(※初期値 RS-232C)



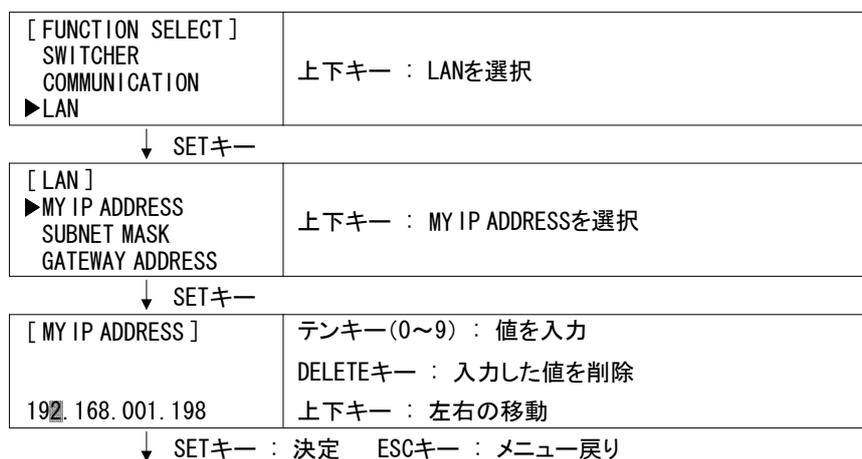
※ 現在の設定の状態は“*”が表示されます。

※ SWITCHER2、3 は LAN 通信のみなので変更することはできません。

3.4 LAN

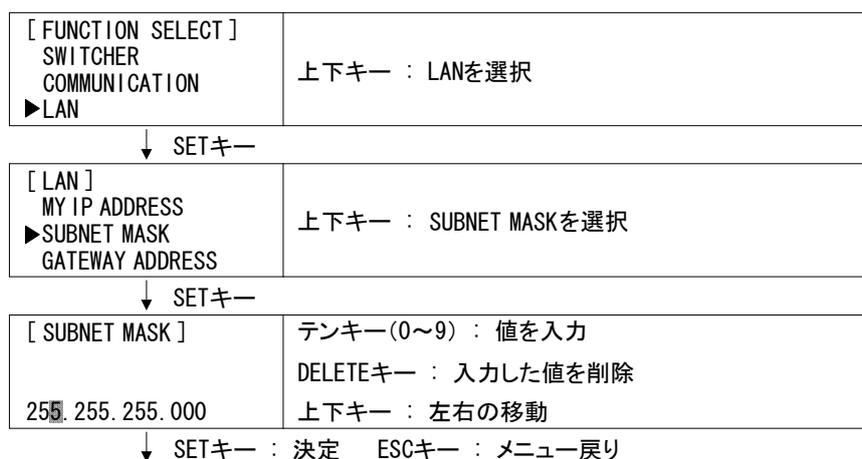
3.4.1 本機 IP アドレスの設定

本機の IP アドレスを設定します。(※初期値 192.168.001.198)



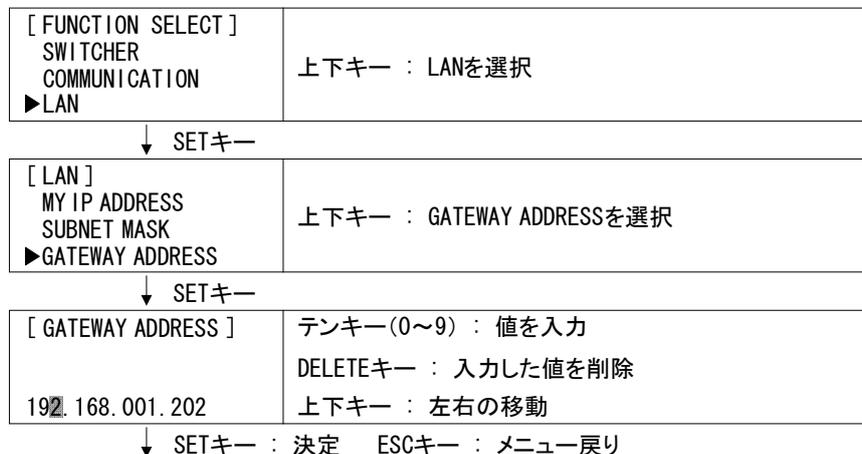
3.4.2 サブネットマスクの設定

サブネットマスクの設定をします。(※初期値 255.255.255.000)



3.4.3 GATEWAY ADDRESS の設定

ゲートウェイアドレスの設定をします。(※初期値 192.168.001.202)



3.4.4 SWITCHER1~3 の IP アドレス設定

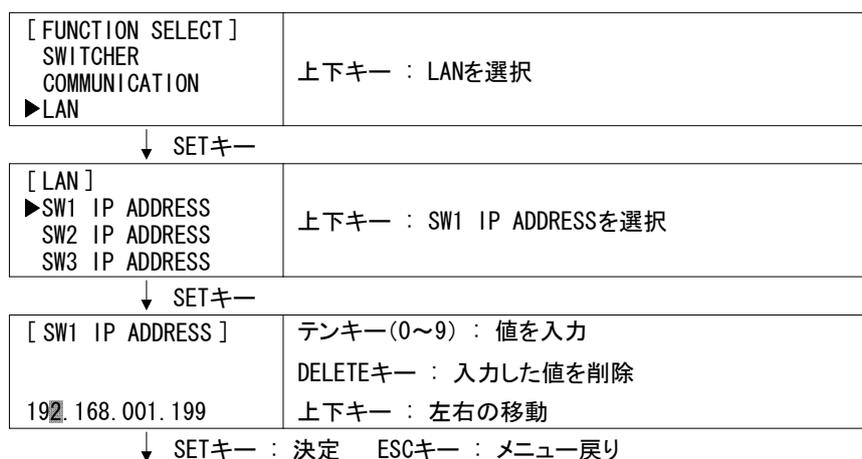
SWITCHER1~3(接続先 1~3)の IP アドレス設定をします。

(※SWITCHER 1 初期値 192.168.001.199)

(※SWITCHER 2 初期値 192.168.001.200)

(※SWITCHER 3 初期値 192.168.001.201)

【例】SWITCHER1 の IP アドレスを設定します。



3.4.5 SWITCHER1～3 の TCP ポート番号設定

SWITCHER1～3(接続先 1～3)の TCP ポート設定をします。

(※SWITCHER 1 初期値 1100)

(※SWITCHER 2 初期値 1100)

(※SWITCHER 3 初期値 1100)



3.4.6 MAC アドレス表示

本機の MAC アドレスを表示します。



3.5 シリアル通信

3.5.1 シリアル通信設定

シリアル通信の通信設定を行います。

{	・通信速度 (4800[bps], 9600[bps], 19200[bps], 38400[bps]	※初期値 : 9600[bps])
	・データ長 (8[bit], 7[bit]	※初期値 : 8[bit])
	・パリティ (NONE:なし, EVEN:偶数, ODD:奇数	※初期値 : なし)
	・ストップビット (1[bit], 2[bit]	※初期値 : 1[bit])



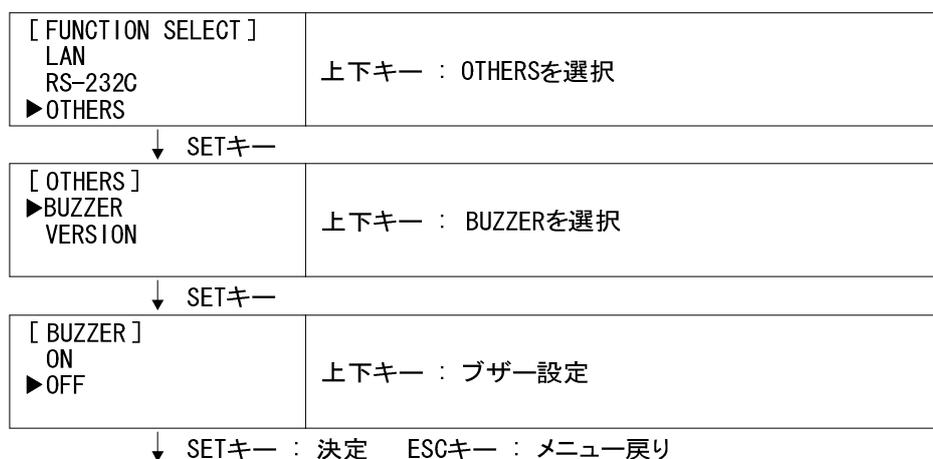
※ 現在の設定の状態は “*” が表示されます。

3.6 その他

3.6.1 ブザー音設定

ブザー音(キー操作音)の ON/OFF を設定します。

- ・ブザー音 あり (ON)
- ・ブザー音 なし (OFF ※初期値)



※ 現在の設定の状態は “*” が表示されます。

3.6.2 バージョン情報表示

本機のファームウェアのバージョンを表示します。



※ファームウェアバージョンの下の()の番号は弊社管理番号になります。

4 シリアル通信の接続方法

4.1 シリアル通信仕様

本機は、マトリクススイッチャとシリアル通信ケーブルで接続しマトリクススイッチャの制御が可能です。
シリアル通信ではマトリクススイッチャ1台に対して SWC-1000 を 1 台接続することができます。
※ シリアル通信での制御は SWITCHER 1(接続先 1)のみ可能です。

シリアル通信仕様

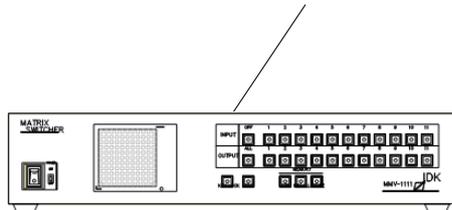
準拠規格	RS-232C
通信速度	4800, 9600, 19200, 38400[bps]
データビット長	8, 7[bit]
パリティチェック	なし, 偶数, 奇数
ストップビット	1, 2[bit]
Xパラメーター	無効
デリミタ	CRLF(復帰+改行, 16 進表記の 0D と 0A)
通信方式	全二重



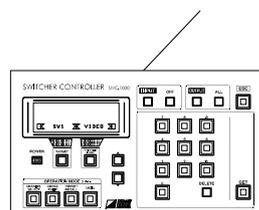
4.2 シリアル通信の接続方法

- ① 接続するマトリクススイッチャのシリアル通信設定に SWC-1000 の通信設定を合わせてください。

マトリクススイッチャ側のシリアル通信の設定及び確認方法は 本取扱説明書のシリアル通信設定(P.26)を
マトリクススイッチャ付属の取扱説明書の手順を御確認ください。 参考にしてシリアルの通信設定を行ってください。



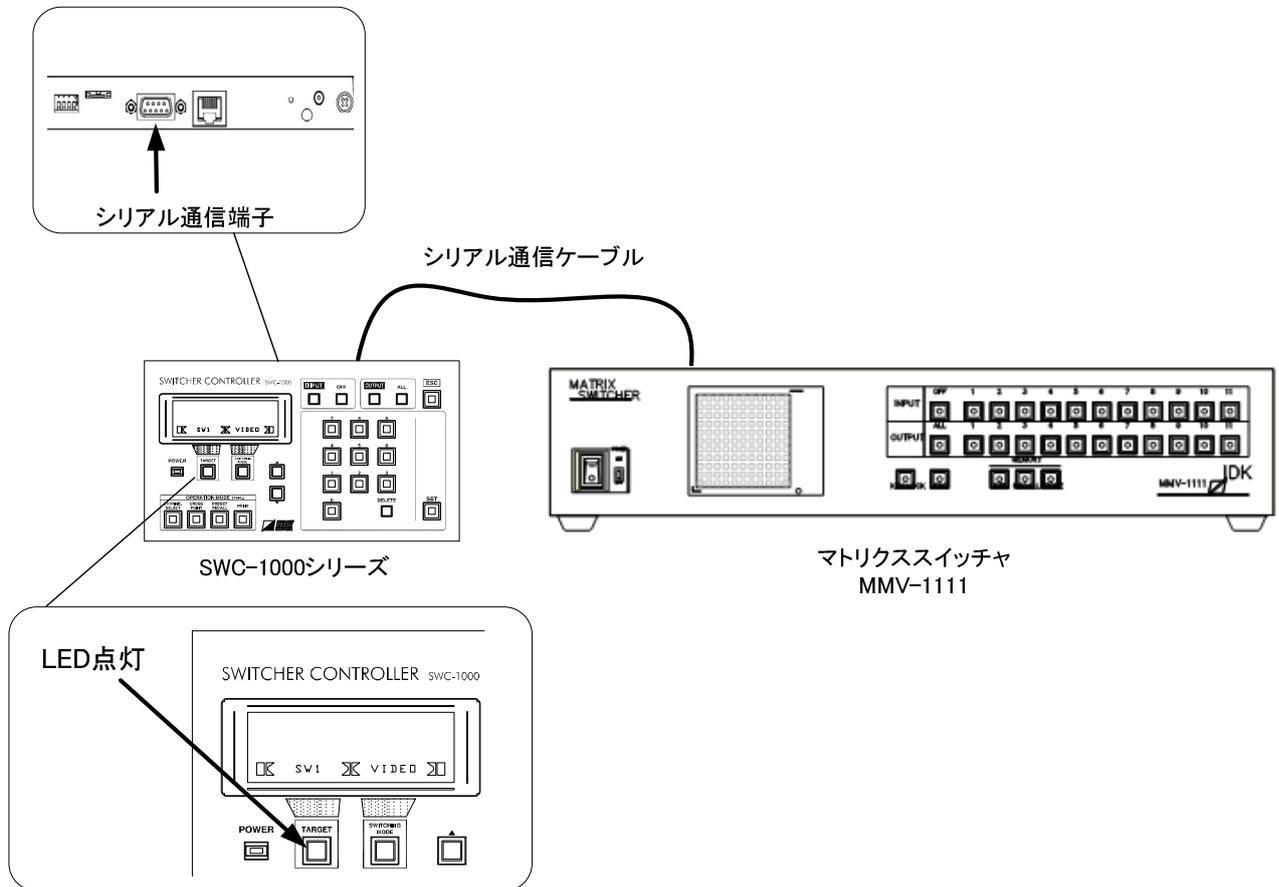
例) マトリクススイッチャ側が下記の通信設定。
通信速度:19200[bps],
データ長:8[bit]
パリティ:なし
ストップビット:1[bit]



例) SWC-1000側を下記の通信設定にする。
通信速度:19200[bps],
データ長:8[bit]
パリティ:なし
ストップビット:1[bit]



- ② SWC-1000 とマトリクススイッチャを接続し、電源を投入後 TARGET キーが点灯すれば接続完了です。リンクエラー時は TARGET キーが点滅し、ディスプレイの TARGET 部分が ERR と SW1～3(選択されている接続先) を交互に表示します。SWC-1000 の SW SELECT、接続先の確認、SWC-1000 とマトリクススイッチャの通信設定やケーブルの接続などを再度確認してください。



※未対応のバージョンが接続された場合 LCD に機種名とバージョン、“NOT AVAILABLE”と表示します。

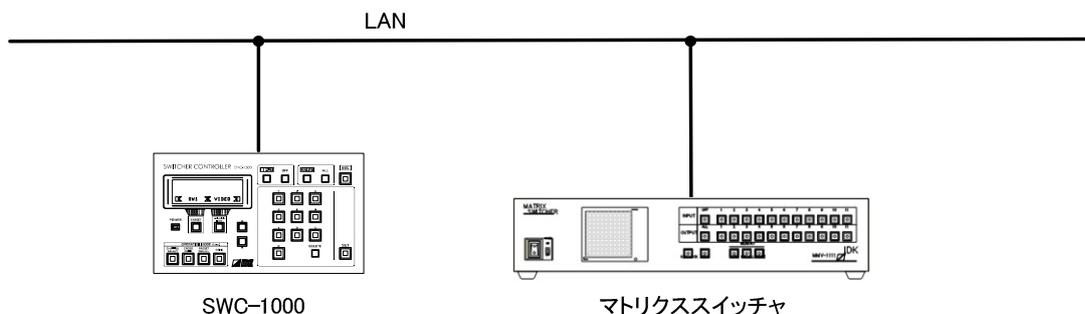
```

NOT AVAILABLE
MMV-1111
Ver. 1.00
【 ERR 】 【 V&A 】
    
```

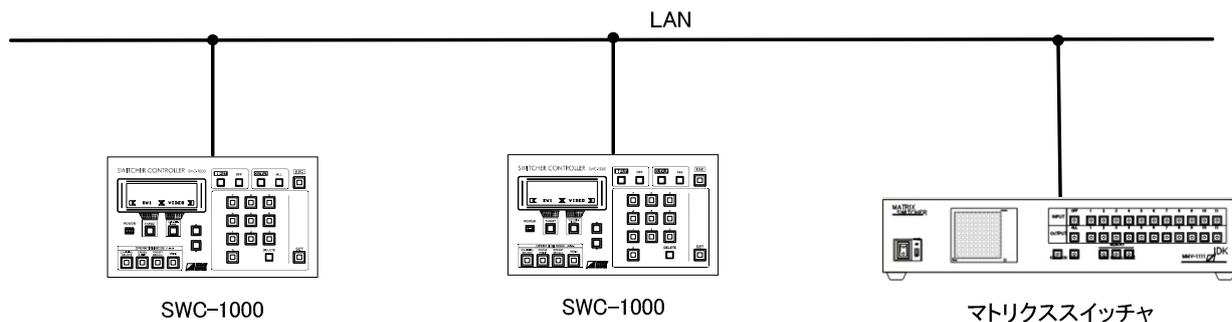
5 LAN 通信の接続方法

本機は、マトリクススイッチャと LAN で接続しマトリクススイッチャの制御が可能です。
LAN通信では、マトリクススイッチャ1台に対して SWC-1000 を複数台接続することができます。
また1台の SWC-1000 で3台までのマトリクススイッチャと接続することもできます。

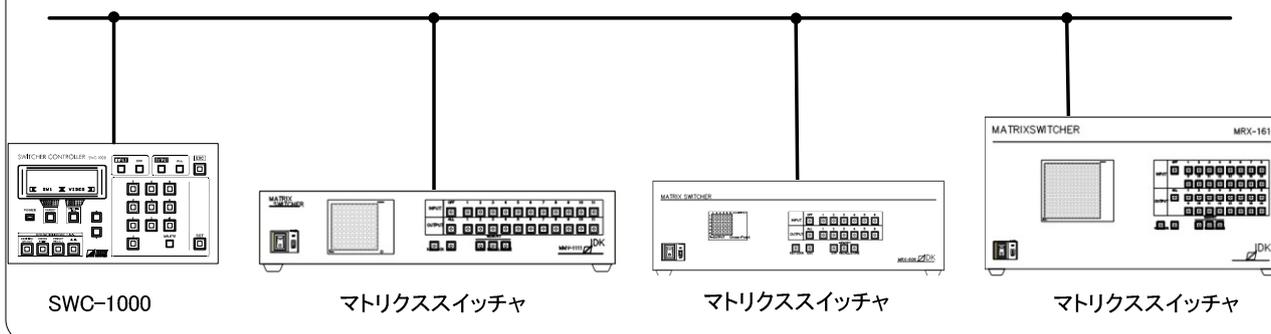
SWC-1000を1台で使う場合



SWC-1000を複数台で使う場合



SWC-1000で複数台を使う場合(最大3台まで)



5.1 LAN 通信仕様

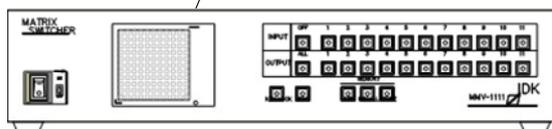
物理層	10BASE-T(IEEE802.3i)/100Base-TX(IEEE802.3u)
ネットワーク層	ARP, IP, ICMP
トランスポート層	TCP(使用ポート通信コマンド制御 : 1100, 6000~6999)

5.2 LAN 通信の接続方法

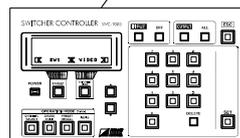
- ① 接続するマトリクススイッチャの LAN 通信設定に SWC-1000 の通信設定を合わせてください。

マトリクススイッチャ側の LAN 通信の設定及び確認方法はマトリクススイッチャ付属の取扱説明書の手順を御確認ください。

本取扱説明書の本機 IP アドレスの設定 (P.23) SWITCHER1~3 の IP アドレスの設定 (P.24) を参考にして LAN の通信設定を行ってください。



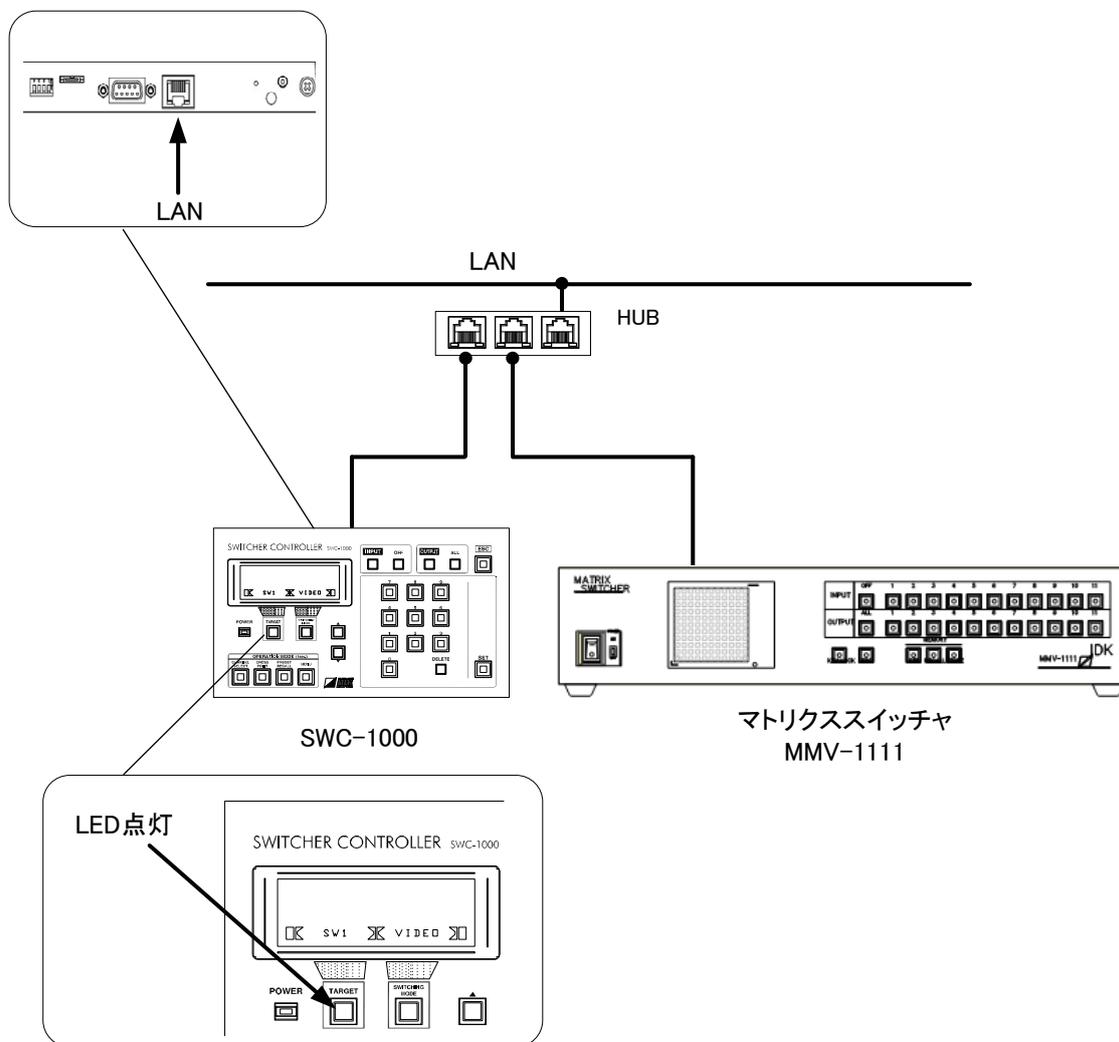
例)マトリクススイッチャ側の IP アドレス
192.168.1.199



例) SWC-1000 の MY IP ADDRESS
192.168.1.198
SWC-1000 の SW IP ADDRESS
192.168.1.199

- ※ネットワークにつなぐ場合はネットワーク環境に合わせて下記の項目の設定を行ってください。
- ・サブネットマスクの設定
 - ・ゲートウェイアドレスの設定
 - ・ポートの設定

- ② SWC-1000 とマトリクススイッチャを接続し、電源を投入後 TARGET キーが点灯すれば接続完了です。リンクエラー時は TARGET キーが点滅し、ディスプレイの TARGET 部分が ERR と SW1~3(選択されている接続先) を交互に表示します。SWC-1000 の TARGET SELECT、接続先の確認、SWC-1000 とマトリクススイッチャの通信設定やケーブルの接続などを再度ご確認ください。



※未対応のバージョンが接続された場合 LCD に機種名とバージョン、“NOT AVAILABLE”と表示します。

```

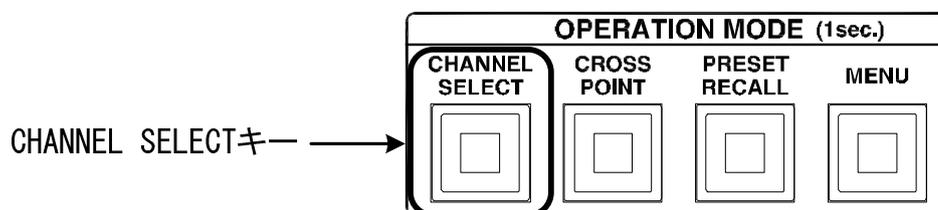
NOT AVAILABLE
MMV-1111
Ver. 1.00
【 ERR 】 【 V&A 】

```

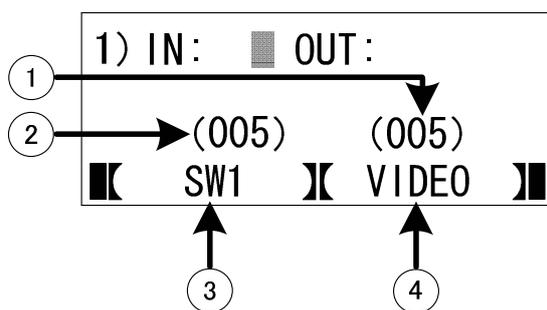
6 チャンネルセレクト

チャンネルセレクトは接続先スイッチの入出力チャンネルを設定します。

チャンネルセレクトモードに入るには、オペレーションモードの CHANNEL SELECT キーを 1 秒間押し続けてください。チャンネルセレクト画面がディスプレイに表示されます。



6.1 画面の説明



- ①、② マトリクススイッチの入出力設定最大値
- ③ TARGET : SWITCHER1~3(接続先 1~3)
- ④ SWITCHING MODE : V&A、VIDEO、AUDIO

6.2 マトリクススイッチャのチャンネル切換え操作

6.2.1 入出力チャンネルの切換の手順

【例】入力3を出力1に設定します。

- ① 画面 IN 側にカーソルがあることを確認し、テンキーでチャンネル番号を入力してください。
※ 入力チャンネルの設定範囲は接続先マトリクススイッチャによって異なります。

```

1) IN:  3  OUT: ---
          (005) (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
  
```

- ② OUTPUT キーを押し、画面 OUT 側にカーソルを移動させます。

```

1) IN:  3  OUT: --█
          (005) (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
  
```

- ③ テンキーでチャンネルを入力してください。
※ 出力チャンネルの設定範囲は接続先マトリクススイッチャによって異なります。

```

1) IN:  3  OUT:  █
          (005) (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
  
```

- ④ 画面右上にEnterマーク「↵」が出たらチャンネル切換可能です。SET キーを押すとマトリクススイッチャのチャンネル切換を実行します。

```

1) IN:  3  OUT:  █  ↵
          (005) (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
  
```

- ⑤ 切換後は Enter マークが*マークに変わります。

```
1) IN:  1  OUT:  █ *
          (005)  (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
```

OFF キーはマトリクススイッチャの入力を OFF (無信号) に設定します。

```
1) IN: OFF █ OUT:  1  ↵
          (005)  (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
```

※ 不正な値が入力された場合“---”と表示されチャンネルを切換えることはできません。

```
1) IN:  3  OUT: ---
          (005)  (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
```

6.2.2 出力チャンネルの一括設定手順

【例】入力1を全出力に設定します。

- ① INPUT キーを押します。
- ② テンキーの1を押します。
- ③ OUTPUT キーを押します(省略可)。
- ④ ALL キーを押します。

```

1) IN: 1 OUT: ALL ↵
      (005) (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
  
```

- ⑤ SET キーを押して切替えます。

※ 一括設定をすると、出力側にリミッターが設定されていても全チャンネル切替えます。

6.2.3 出力チャンネルの OFF(無信号)の一括設定手順

【例】全出力を OFF に設定します。

- ① INPUT キーを押します(省略可)。
- ② OFF キーを押します。
- ③ OUTPUT キーを押します(省略可)。
- ④ ALL キーを押します。

```

1) IN: OFF OUT: ALL ↵
      (005) (005)
  █ SW1  █ VIDEO █
  
```

- ⑤ SET キーを押して切替えます。

※ 一括設定をすると、出力側にリミッターが設定されていても全チャンネル切替えます。

6.2.4 複数同時にチャンネルの設定をする。

※ 最大で9チャンネルの同時設定ができます。

【例】入力1を出力3に、入力2を出力2に、入力3を出力1に設定します。

- ① INPUT キーを押します。
- ② テンキーの1を押します。
- ③ OUTPUT キーを押します。
- ④ テンキーの3を押します。

```

1) IN:  1 OUT:  3  ↵
          (005)  (005)
┌ SW1  ─┬ VIDEO ─┐

```

- ⑤ 下キーを押します。

```

1) IN:  1 OUT:  3
2) IN:  1 OUT:  --  ▬
          (005)  (005)
┌ SW1  ─┬ VIDEO ─┐

```

- ⑥ INPUT キーを押します。
- ⑦ テンキーの2を押します。
- ⑧ OUTPUT キーを押します。
- ⑨ テンキーの2を押します。

```

1) IN:  1 OUT:  3  ↵
2) IN:  2 OUT:  2  ↵
          (005)  (005)
┌ SW1  ─┬ VIDEO ─┐

```

- ⑩ 下キーを押します。

```

2) IN:  2 OUT:  2
3) IN:  2 OUT:  --  ▬
          (005)  (005)
┌ SW1  ─┬ VIDEO ─┐

```

- ⑪ INPUT キーを押します。
- ⑫ テンキーの 3 を押します。
- ⑬ OUTPUT キーを押します。
- ⑭ テンキーの 1 を押します。

```

2) IN:  2  OUT:  2  ↵
3) IN:  3  OUT:  █
      (005) (005)
█ SW1 █ VIDEO █
    
```

- ⑮ SET キーを押して切換えます。

※ 音声(L、R)マトリクススイッチャを制御する場合

映像、音声(L、R)の同時切換、映像のみの切換、音声(L、R)の同時切換の設定のみできます。
音声(L)のみ切換、音声(R)のみ切換は設定することができません。

- ※ リンクエラー時は TARGET キーが点滅し、ディスプレイの TARGET 部分が ERR と SW1~3(選択されている接続先)を交互に表示します。値の入力をする事ができなくなります。

```

1) IN: ---  OUT: ---
      (005) (005)
█ SW1 █ VIDEO █
      ↑↓ 交互に表示
2) IN: ---  OUT: ---
      (005) (005)
█ ERR █ VIDEO █
    
```

- ※ チャンネル切換の通信に失敗した場合、画面右上に“E”マークが表示されます。もう一度 SET キーを押してチャンネル切換を実行してください。

```

1) IN:  █  OUT:  1  E
      (004) (002)
█ SW1 █ VIDEO █
    
```

6.2.5 OUTPUT LOCK MODE 時にチャンネルの設定をする。

OUTPUT LOCK MODE を設定している場合、ディスプレイのマトリクススイッチャの出力設定最大値の部分が FIX(固定)と表示されます。

【例】OUTPUT LOCK MODE で 1 固定に設定した場合。

```
1) IN: --■ OUT: 1
      (005) (FIX)
  █ SW1  █ VIDEO █
```

【例】入力 3 を出力 1 に設定します。

- ① テンキーの 3 を押します。
- ② SET キーを押して切替えます。

```
1) IN: 3 OUT: 1 *
      (005) (FIX)
  █ SW1  █ VIDEO █
```

※ OUTPUT LOCK MODE 時は OUTPUT 側へカーソルを移動させることができません。
複数同時にチャンネルの設定をすることもできなくなります。

6.2.6 入力したデータを削除する。

一箇所削除する。

- ① カーソルを消したい場所に合わせます。

```

2) IN:  2  OUT:  2  ↵
3) IN:  3  OUT:  █
      (005)  (005)
█ SW1  ] [ VIDEO ] █
  
```

- ② DELETE キーを押します。

```

2) IN:  2  OUT:  2
3) IN:  3  OUT:  --█
      (005)  (005)
█ SW1  ] [ VIDEO ] █
  
```

一行削除する。

- ① カーソルを消したい場所に合わせます。

```

2) IN:  2  OUT:  █ ↵
3) IN:  3  OUT:  1
      (005)  (005)
█ SW1  ] [ VIDEO ] █
  
```

- ② DELETE キーを 1 秒間押し続けます。

```

2) IN:  3  OUT:  █ ↵
      (005)  (005)
█ SW1  ] [ VIDEO ] █
  
```

全削除

- ① ESC キーを押すとリセットされます。

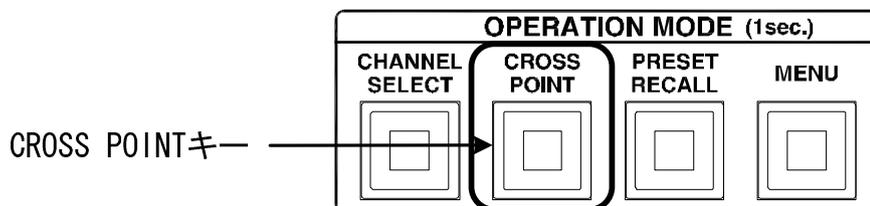
```

1) IN:  --█  OUT:  ---
      (005)  (005)
█ SW1  ] [ VIDEO ] █
  
```

7 クロスポイント

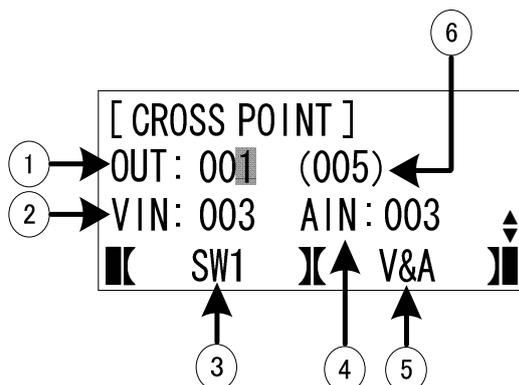
現在のクロスポイントの状態を取得します。

クロスポイントモードに入るには、オペレーションモードの CROSS POINT キーを 1 秒間押し続けてください。クロスポイント画面がディスプレイに表示されます。



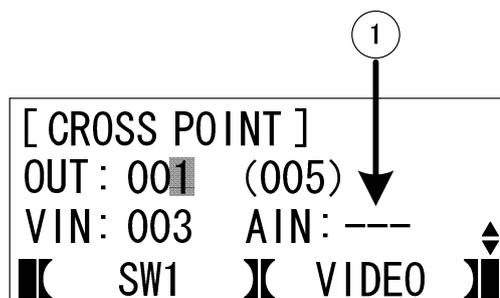
7.1 画面の説明

接続先が音声機能つきスイッチャの場合



- ① 出力チャンネル
- ② 映像入力チャンネル
- ③ TARGET : SWITCHER1~3(接続先 1~3)
- ④ 音声入力チャンネル
- ⑤ SWITCHING MODE : V&A、VIDEO、AUDIO
- ⑥ 接続しているスイッチャの最大値

接続先が音声機能なしスイッチャの場合



- ① 音声機能がついていない場合は “---” を表示

7.2 クロスポイントの操作説明

```
[ CROSS POINT ]
OUT: 001 (005)
VIN: 001 AIN: 001
[ SW1 ] [ V&A ]
```

- ① 上下キーでチャンネル変更

```
[ CROSS POINT ]
OUT: 002 (005)
VIN: 002 AIN: 002
[ SW1 ] [ V&A ]
```

チャンネルを選択して表示

【例】出力チャンネル4の状態を表示させる。

```
[ CROSS POINT ]
OUT: 001 (005)
VIN: 003 AIN: 003
[ SW1 ] [ V&A ]
```

- ① テンキーの4を押します。

```
[ CROSS POINT ]
OUT: 004 (005)
VIN: --- AIN: ---
[ SW1 ] [ V&A ]
```

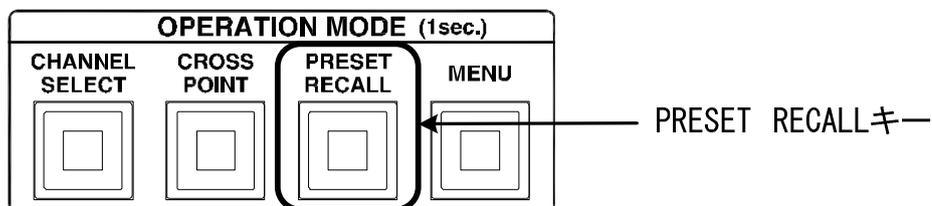
- ② SET キーを押します。

```
[ CROSS POINT ]
OUT: 004 (005)
VIN: 004 AIN: 004
[ SW1 ] [ V&A ]
```

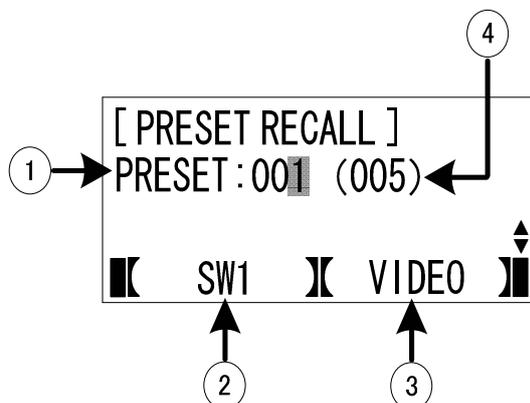
8 プリセットリコール

接続先マトリクススイッチャに登録されているプリセットメモリを呼び出します。

プリセットリコールモードに入るには、オペレーションモードの PRESET RECALL キーを 1 秒間押し続けてください。プリセットリコール画面がディスプレイに表示されます。



8.1 画面の説明



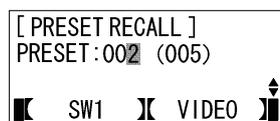
- ① プリセットメモリ番号
- ② 音声入力チャンネル
- ③ SWITCHING MODE : V&A、VIDEO、AUDIO
- ④ 接続しているスイッチャのプリセット最大値

8.2 プリセットリコールの操作方法



[PRESET RECALL]
PRESET:001 (005)
◀ SW1 ▶ VIDEO ▶

- ① 上下キーでプリセットメモリ番号変更



[PRESET RECALL]
PRESET:002 (005)
◀ SW1 ▶ VIDEO ▶

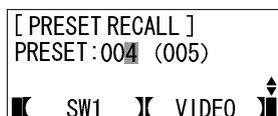
- ② SET キーでプリセット呼び出し

プリセットメモリ番号を選択して呼び出し

【例】接続先 1 のプリセットメモリ番号 4 を呼び出す。



① テンキーの 4 を押します。



② 画面右上に Enter「↵」マークが出たらプリセット呼び出し可能です。SET キーを押すと接続先マトリクススイッチャのプリセット呼び出しを実行します。



③ プリセットの呼び出し後は Enter マークが*マークに変わります。



※ プリセット呼び出しの通信に失敗した場合、画面右上に“E”マークが表示されます。もう一度 SET キーを押してプリセット呼び出しを実行してください。

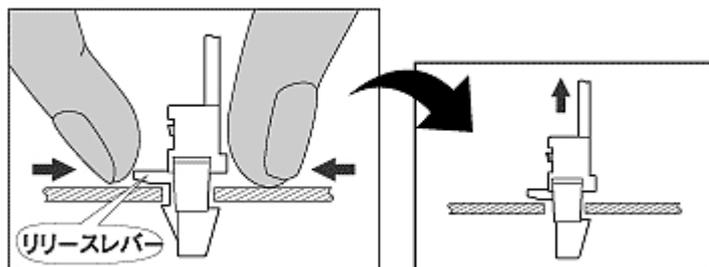


9 ケーブルロックタイ取り付け方法

電源供給用ジャックコネクタには、電源ケーブル抜け防止用に、ケーブルロックタイ取り付け穴があります。付属のケーブルロックタイにて電源ケーブルが抜けないようにロックしてください。



不要になった際や、一時的に本機より取り外す場合は下記の要領にて取り外してください。



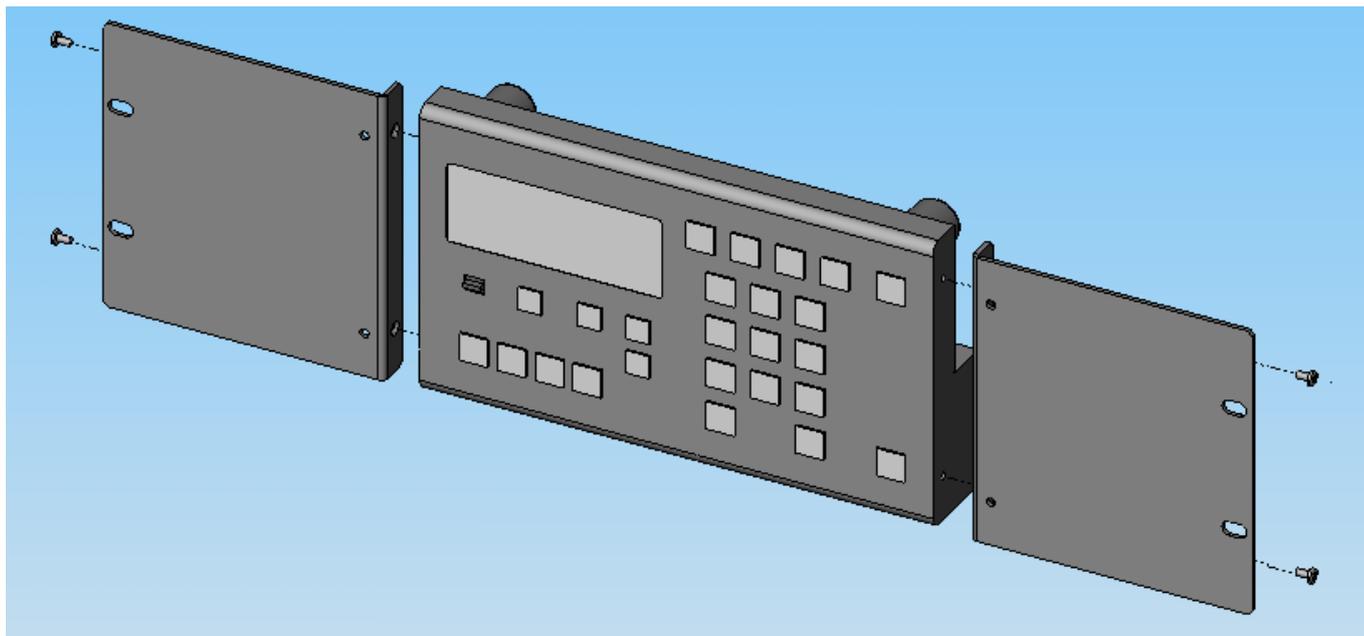
10 ラック取付金具(オプション:RM-SWC1000)使用方法

オプションの RM-SWC1000 を使用することにより2通りの取り付け方法が可能になります。

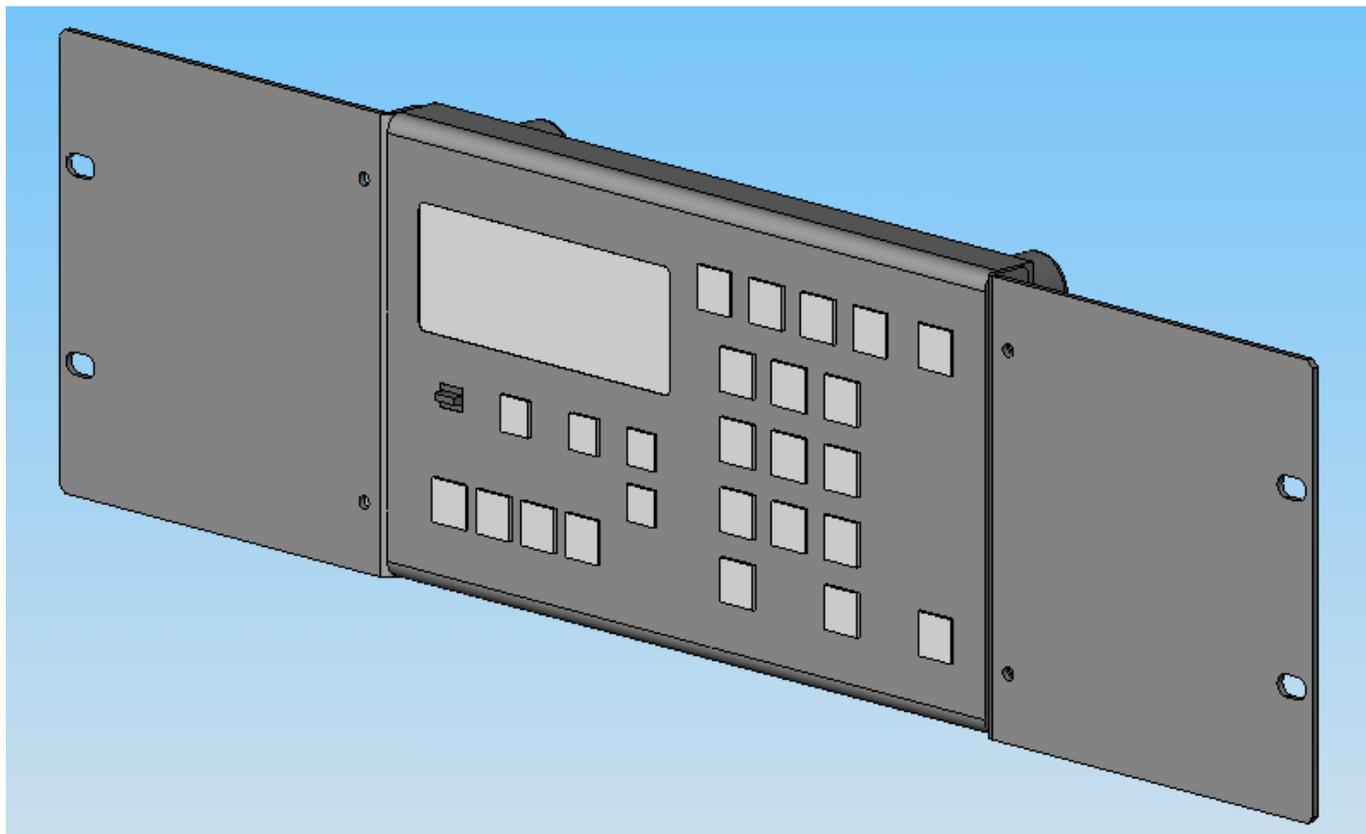
- A. EIA19 インチラックへの搭載
- B. 操作卓への取り付け

<A. EIA19 インチラックへの搭載>

①RM-SWC1000 を図の向きにして本体へ取り付けます。(付属の M3×L6 バインドねじ×4)

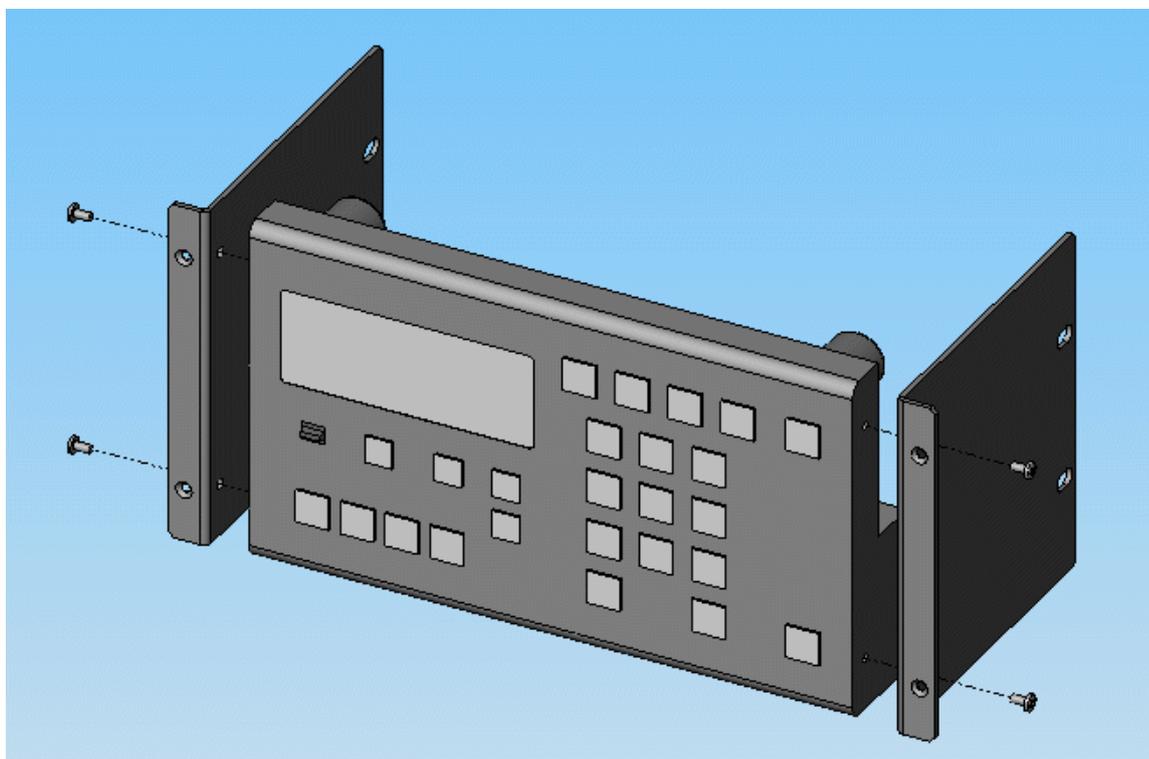


②EIA ラック 3U サイズに搭載することが可能になります。(ラックマウント用のねじをご用意ください)

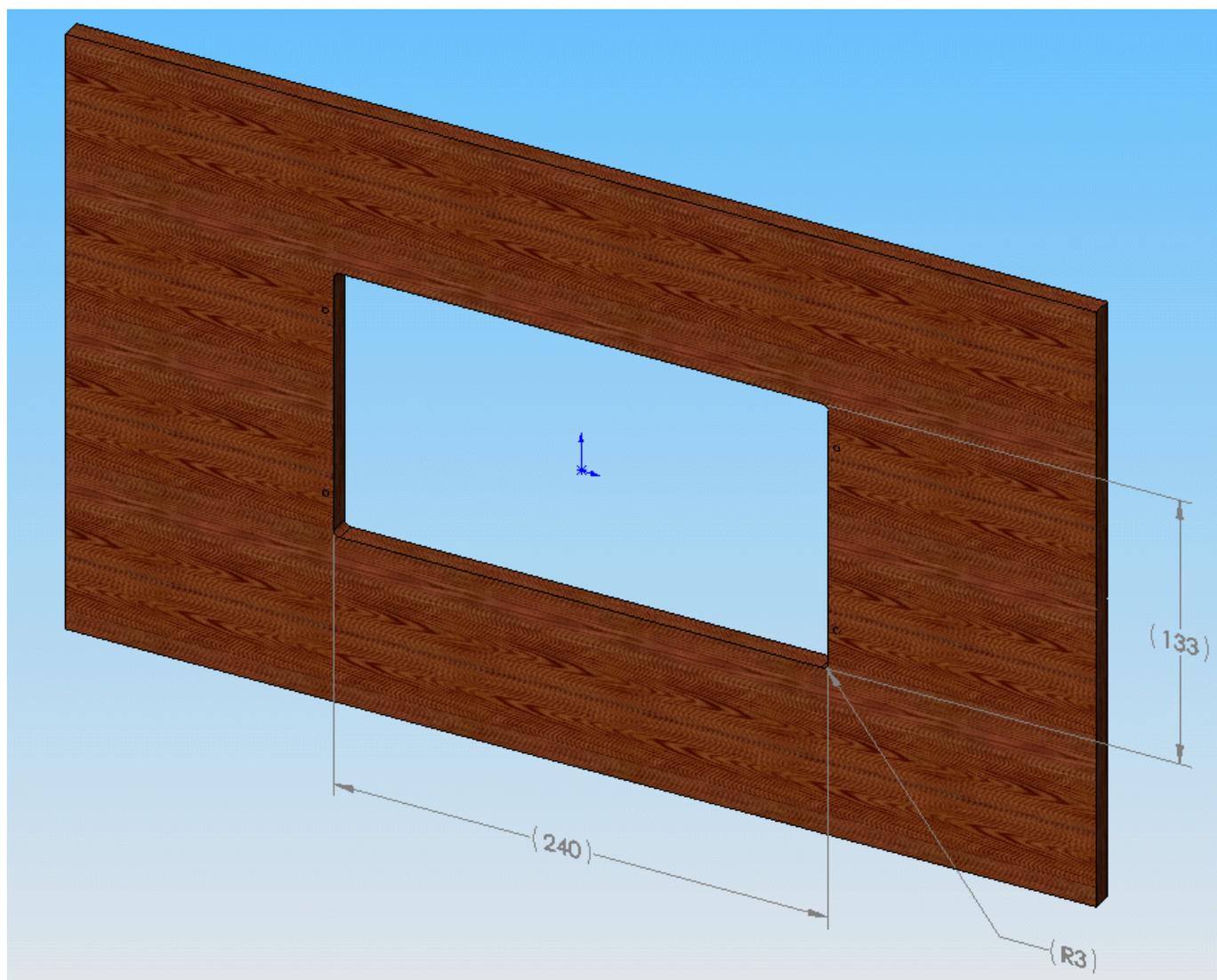


<B. 操作卓への取り付け>

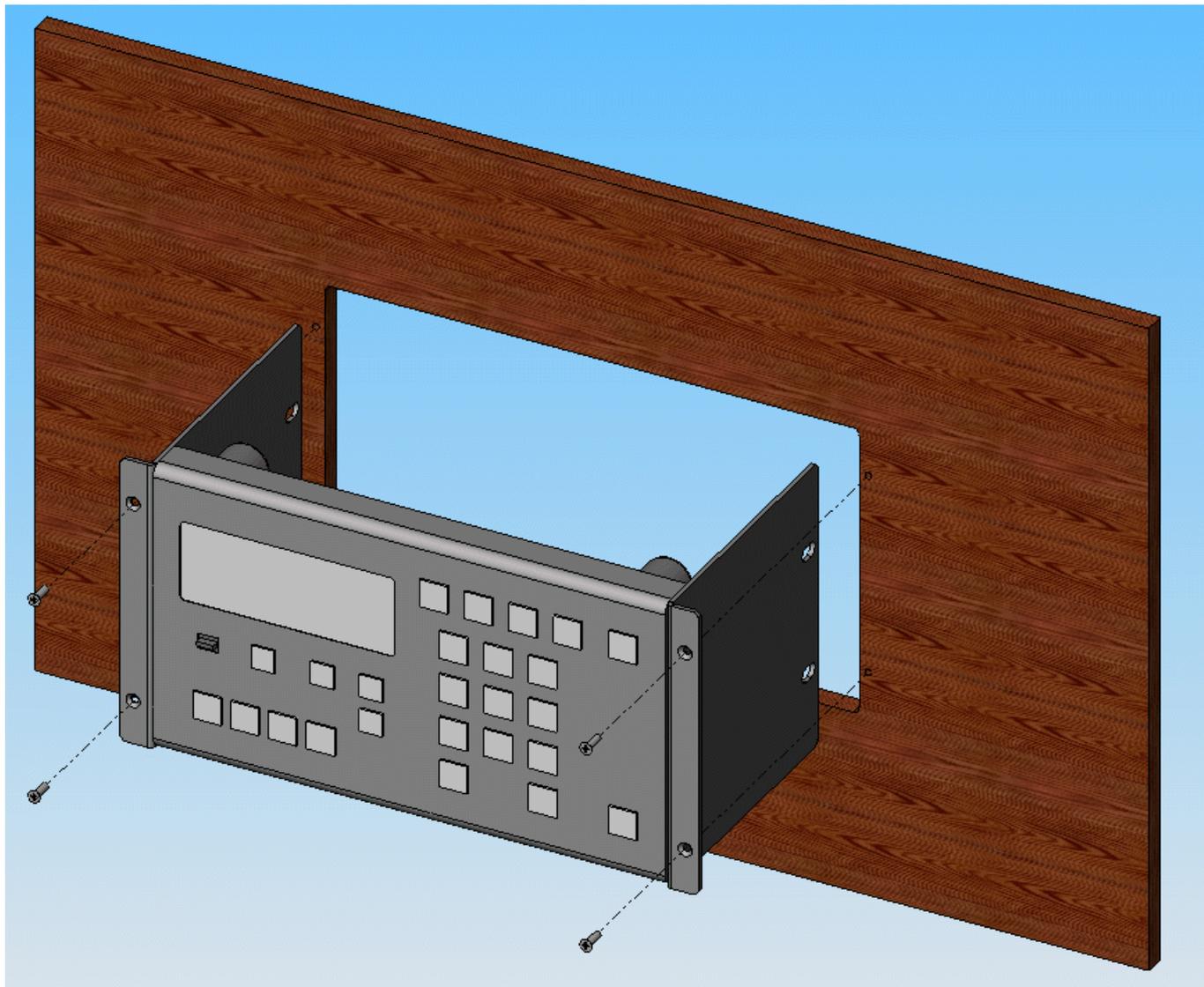
①RM-SWC1000 を図の向きにして本体へ取り付けます。(付属の M3×L6 バインドねじ×4)



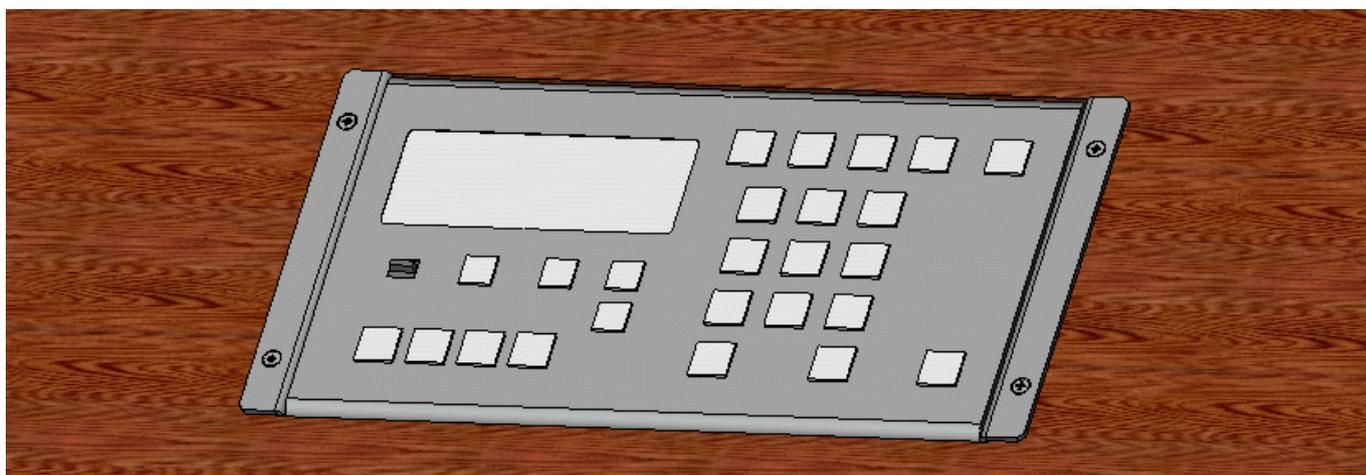
④取り付けのために操作卓を加工します。図の寸法を参考にしてください(240mm×133mm 角 R3 以下)



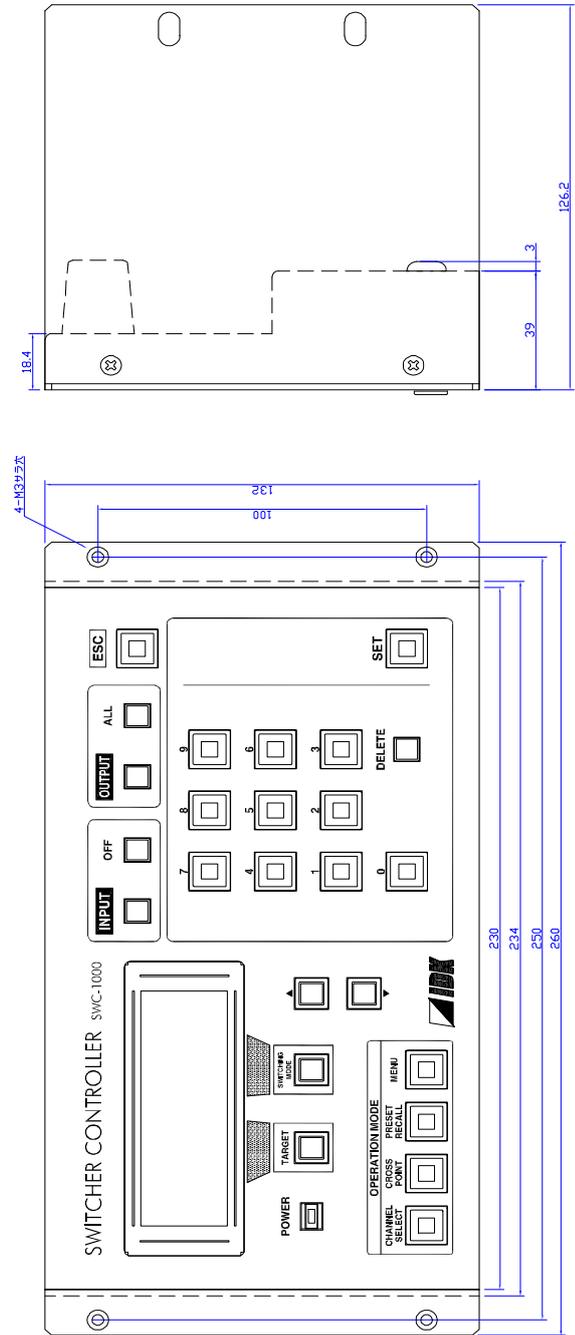
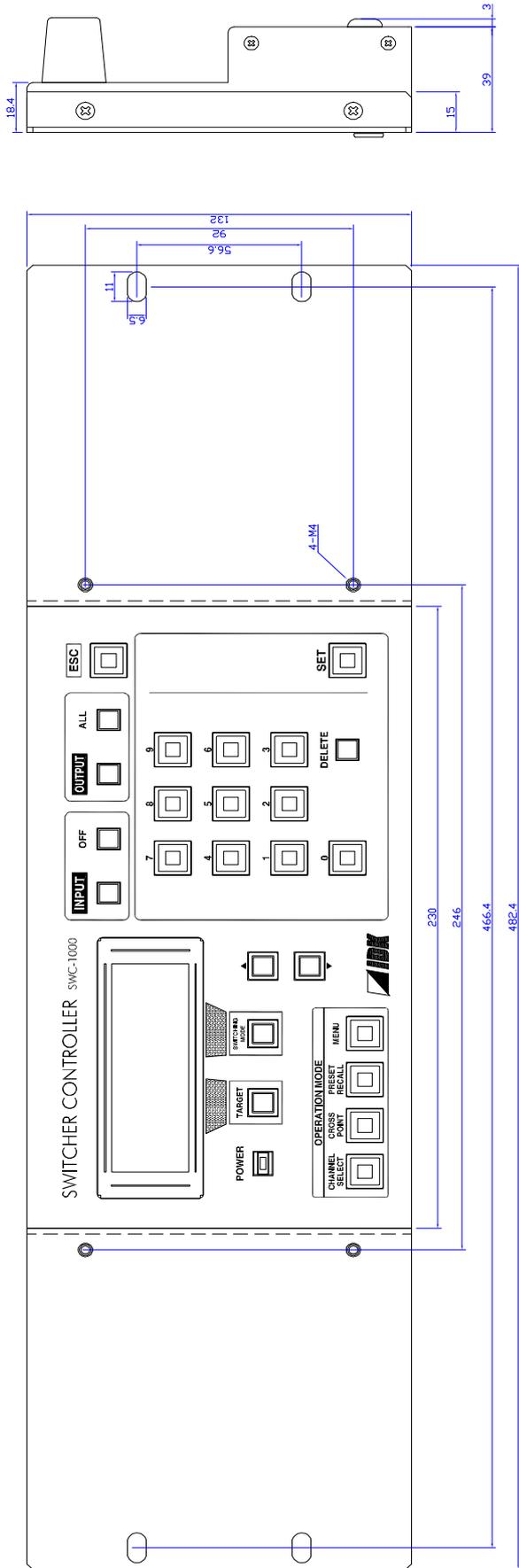
③加工を施した操作卓へはめ込みます。(操作卓の材質にあった M3 サラねじを使用してください)



④ 取り付け完了です。



参考: 詳細寸法図



11 製品仕様

仕様は予告なく変更することがあります。

外部制御	
・RS-232C	1ch D-sub9 ピンコネクタ(オス)
・LAN インターフェース	1ch RJ-45 コネクタ 10Base-T/100Base-TX(Auto Negotiation),AUTO MDI/MDI-X 対応
その他仕様	
・電源電圧	DC5V AC アダプタ
・消費電力	約 4W
・外形寸法	230(W)×132(H)×39(D)mm (ラック搭載時 EIA3U / 突起物含まず)
・質量	0.92kg
・使用温度範囲	0～+40℃
・使用湿度範囲	20～90%(但し結露なきこと)
・保存温度範囲	-20～+80℃
・保存湿度範囲	20～90%(但し結露なきこと)
・付属品	AC アダプタ、ケーブルロックタイ
・オプション	ラック取付金具(型番:RM-SWC1000)

※付属の AC アダプタは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

12 故障かな？と思う前に

本機がうまく動作しない時などは、以下の点をご確認の上(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部

TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765

月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00



株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部
TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765
月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00

発行日 2011年11月18日 Ver.1.2.3_D
* 本書は改善のため、事前の予告無く変更することがあります。
* 本書の無断転載を禁じます。